

緑の風 NEWS



JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2022年9月28日 No. 44

見習いなしで信号業務!?

安全軽視



9月11日、要員不足を理由に成田駅で見習いをしていない管理者が信号業務に就くといった安全軽視とも言える事象が発生し、JR東労組千葉地本は9月21日に緊急申し入れを行いました。

問題点

・これまでは、信号業務に就くのに10
 徹の見習いと見極めを行って
 いた。

→代務に入った管理者は見習いを
 していない!

・これまでは、他の信号担当の勤務
 変更を行っていた。

→他の信号担当には勤務変更の打
 診はなかった。

→支社にも報告されていた!なのに
 事態が変わらなかったって事は容認
 したと同じだ!

安全はトッププライ
 オリティというのは、
 言葉だけなの?



2022年9月25日 No.20
 JR東労組千葉地本
 発行所: 中曽根 賢治
 編集所: 橋本 隆
 ホームページ: http://www.jreu-chiba.jp

千葉地本第3号

「安全が経営のトッププライオリティと考えられない事象を是正するため」の緊急申し入れを行う!

地本は、申3号「安全が経営のトッププライオリティと考えられない事象を是正するための緊急申し入れ」を会社に提出しました。
 これまで必要な教育・訓練等と業務の積み重ねで「安全」が実現されてきています。しかし、成田駅において、**要員不足を理由に信号業務の見習いを行っていない社員を、単独でその担当に就かせる**というこれまでの安全への努力を否定し、安全を軽視していると言わざるを得ない勤務配が行われました。職場からは「今後は見習いをやらなくても、担当が指定されるのではないか?」「要因が足りていないから、緊急時の対応ができないのではないか?」「第7波にもなっていないのに、コロナ対策としての体制が未だに取れていない。」と声が出ています。この様な状況により「変革2027」の実現に向け、業務の融合と連携を図り、多能化していく過渡期において、不慣れな業務や担当を遂行していく過程には教育・訓練を確実に行う必要があると考えます。地本は、組合員の不安や疑問を解消し、安全を第一に安心して業務を担えるよう緊急で申し入れを行いました。

【申し入れ項目】

1. 成田駅で行われた安全を軽視していると言わざるを得ない勤務指定を危惧することから、単独で担当に就ける判断基準を明らかにすること。
2. これまで、幾度となく人材育成に関する労使議論において「必要な教育・訓練等を行っていく考えである」と回答しているが、確実に実行されているのか明らかにすること。
3. 箇所ごとの特情に合わせた各担当の教育・訓練等を受けていない社員は、その担当に就かせないこと。

JR東日本のトッププライオリティである「安全」を脅かす事象が発生しました!今こそ職場でのチェック機能を発揮し安全で働きやすい職場を創っていきましょう!

安全を守るためモノを言うJR東労組が必要だ!